

目標達成計画

作成日: 令和2年4月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員の接遇について、慣れてくると言葉使いや態度が入居者様・ご家族様に馴れ馴れしくなってしまう。	土の職員も適切な言葉遣いや態度で入居者様・ご家族様に節度をもって接することが出来る。	岐阜事業部内の愛の家グループホームでは、月2回の職員面談を実施しているので、その際に個々に指導していく。ホーム内の会議や研修を通じて再度接遇について周知していく。	6ヶ月
2	35	各施設間との密な連携は出来ていない。	大規模災害時に周辺施設との協力体制が出来ている。	ホーム周辺に医療・介護施設が複数あるので、お互いに協力体制が作れるように定期的話し合いの場を設ける。	6ヶ月
3	49	入居者様の身体面や体力面の低下。	入居者様一人ひとりが希望する場所へ出かけられる。	MCSが会社全体として取組みを行っている自立支援介護を継続する。多治見ホームではR1.12～取組みを開始。取組後の変化は不穏が減ったり、覚醒が良くなったり、排便がスムーズになったり、減薬できた等。27名中6～7割の方が何かしらの改善が見られる。	6ヶ月
4	4	運営推進会議へご家族様の参加を増やす。	運営推進会議にご家族様が気軽に参加出来ている。	『会議』というと、ご家族様からすると参加しにくいと思われる。例えば『地域住民との交流会』や『お茶会』などに変えて参加しやすい呼び方に変更してみる。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。